



ちかい：私は天理教少年会員です。教えを守り、ひのきしんにはげみ、互いにたすけあって、立派なようぼくに育ちます。

●天理教少年会●

天理教少年会員成人目標

立教155年8月26日 改訂

生かされていく人生を知り、生きるとはなにをいひを味わいます	じっこうこうもく 実行項目		しゅうがくまえ めばえ (就学前)	しょうがくねんねん ふたば (小学1年～3年)	しょうがくねんねん あおば (小学4年～6年)	ちゅうがくせい わかぎ (中学生)
	おやがみ 親神さまに お祈りします		<ul style="list-style-type: none"> ○おきたとき ねるとき おやがみさまに ございますつします ○ごはんのとき てをうって 「いただきます」「ごちそうさまでした」と いいます ○おまもりを みにつけます ○びょうきのとき おさづけを していただきます ○なんでも おやがみさまに おそなえし おさがりを いただきます ○あさ ゆう おつとめを します ○おちばがえりを します ○きょうかいへ おまいりします ○うれしいときも かなしいときも 「なむてんりおうのみこと」と となえます 	<ul style="list-style-type: none"> ○おつとめをし おやがみさまに おれいを いいます ○がっこうに いくとき かえったとき おやがみさまに おまいりします ○やすみの日には きょうかいへ おまいりします ○びょうきのともだちが はやくよくなるように おいのりします ○おやがみさまに かんしゃして おそなえします 	<ul style="list-style-type: none"> ○おつとめで 一日の心づかいを 約束します ○おつとめで 一日の反省を します 	<ul style="list-style-type: none"> ○月次祭に 参拝します ○おつとめをし 世の中ののために 祈ります ○苦しいことも 悲しいことも 親神さまの おてびきであることを 知ります
	おし 教えを まなびます		<ul style="list-style-type: none"> ○「おやがみさま」「おやさま」「みたたまさま」と いえます ○おやがみさまの おなまえが いえます ○おやさまの おなまえが いえます ○「ちかい」が いえます 	<ul style="list-style-type: none"> ○おやさまの あたんじょう日を おほえます ○「おちば」について しります ○はると あきのたいさいの日を おほえます ○「かしもの・かりもの」について しります 	<ul style="list-style-type: none"> ○「おちば」について 言えます ○「かしもの・かりもの」について 言えます ○「八つのほり」が 言えます ○「ひのきしん」について 知ります ○「においがけ」について 知ります ○「あひでさき」に したしみます 	<ul style="list-style-type: none"> ○「天理教教典」を 読みます ○「大祭の意義」について 知ります ○「教祖」について 話すことができます ○「十全の守護と神名」が 言えます ○「別席」について 知ります
	なりもの おてふり・鳴物を ならいます		<ul style="list-style-type: none"> ○あさ ゆうの おつとめが できます 	<ul style="list-style-type: none"> ○「みかぐらうた」が うたえます ○「よるづよ八首」を ならいます 	<ul style="list-style-type: none"> ○「六下り目」まで ならいます 	<ul style="list-style-type: none"> ○「十二下り目」まで できます
	あさ お 朝起き・正直・働きを 実行します		<ul style="list-style-type: none"> ○はやね・はやあきを します ○げんぎよく おきます ○うそを つきません ○やくそくを まもります ○あそんだあと かたづけを します ○おてつだいを します 	<ul style="list-style-type: none"> ○ひとりて おきます ○みのまわりのことは じぶんで します ○しっかり べんぎょうします ○じか金を まもります 	<ul style="list-style-type: none"> ○正しいことは 勇気をもって 実行します ○自分で きめたことは 責任をもって さいごまで やりとおします ○人のためになることを すずんでします 	<ul style="list-style-type: none"> ○いつでもどこでも 自らすすんで ひのきしんを します
	おや こう こう 親孝行を します		<ul style="list-style-type: none"> ○おとうさん おかあさんの いわれることを すなおに ききます 	<ul style="list-style-type: none"> ○一日のできごとを おやに はなします 	<ul style="list-style-type: none"> ○親がよるこんでくださることを すずんでします 	<ul style="list-style-type: none"> ○わが家の 信仰のはじまりを 知ります
	なか よ 仲良く たすけあいます		<ul style="list-style-type: none"> ○なかよく あそびます 	<ul style="list-style-type: none"> ○きょうだい なかよく します ○たくさん ともだちを つくります ○ともだちを たいせつに します 	<ul style="list-style-type: none"> ○人のいけんを よく聞きます ○友だち同士 たすけあいます ○小さい子どもに やさしくします ○お年寄りを 大切にします 	<ul style="list-style-type: none"> ○喜びや悩みを わかちあい 互いに 励ましあいます ○何事も 人の身になって 考え 行動します
	こと ば よい言葉を つかいます		<ul style="list-style-type: none"> ○「ありがとう」「ごめんなさい」を すなおに いいます ○「はい」と あかるく へんじを します 	<ul style="list-style-type: none"> ○えがおで あいさつを します ○やさしいことばを かけます 	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の方から あいさつを します ○人のかげ口を 言わず 良いところを ほめます 	<ul style="list-style-type: none"> ○相手を思いやる言葉を 使います ○自分の立場にふさわしい言葉を 使います
	たい せつ ものを 大切にします		<ul style="list-style-type: none"> ○ぼんや おもちやを たいせつにします ○なんでも よるこんで のこさずに いただきます ○しぜんに したしみ うつくしさを かんじます 	<ul style="list-style-type: none"> ○ものを ていねいに あつかい おだなく つかいます ○すきぎらいを しません ○しぜんめぐみについて しり いきものを たいせつに します 	<ul style="list-style-type: none"> ○ものにこめられた 人のまごころが わかります ○「火・水・風」の ごしゅごを知り すべてが生かされていることを 感謝します 	<ul style="list-style-type: none"> ○いのちの尊さを 知ります ○工夫し ものを生かして 使います